

臨床する

アート

2011

[東京セッション]

エイブルアート・スタジオ
アーツ千代田3331内(東京都千代田区)

第1回 2011年10月13日(木)

「『鍋の中を見よ』
—— 人やモノに向き合うありかた」

枝元なほみ(料理研究者/社団法人チームむかご代表理事)

第2回 2011年10月28日(金)

「東北からはじめる
—— ARC>Tという取り組み」

鈴木拓(演劇制作者/ArtRevival Connection TOHOKU事務局長)

第3回 2011年11月10日(木)

「遊ぶことは生きること」

天野秀昭(NPO法人プレーパークせたがや理事/大正大学特命教授)

第4回 2011年11月18日(金)

「『時間』と『空間』を届けるアートワークショップ」
中津川浩章(美術家/障害者施設・工房「集」アートディレクター)

第5回 2011年12月9日(金)

「それぞれができることを
—— 力を生かすネットワーク」

長崎剛志(庭園美術家/「復興支援プロジェクト 庭JAPAN」調整役)

第6回 2011年12月15日(木)

「トークカフェ
—— これからの暮らしをともに考える」

コーディネータ(全6回)

坂倉杏介(慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所特別研究講師)

○ 各回とも19:00~21:00開催となります。 ※要事前申し込み

社会が大きく変わろうとしています。2011年3月11日に発生した東日本大震災。原子力発電所の事故。政治情勢の変化。このようななかで私たちは何を大切に、これからの暮らしをつくっていくのか。その問いに答えるためには、自分が置かれている状況にいまいちど目を向け、丁寧に見つめること、あるいは批判的にそして創造的に考えることが必要でしょう。人々が生に向き合う現場で、どのようなことがおきているのか。そこで、アートはどのようなものとしてあるのかを考えます。